



2017年12月15日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
(JASDAQ コード番号 4667)
問合せ先 経営企画室 室長 曾我 泰典
(Tel 052-950-7500)

交通規制の無い一般公道における、遠隔型自動運転(Level4)の実証実験に成功

当社は、株式会社ティアフォー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：武田 一哉）、KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中 孝司）などの協力の下、愛知県の平成 29 年度「自動走行実証推進事業」の受託において、2017 年 12 月 14 日に、交通規制の無い一般公道における遠隔制御型自動運転（レベル 4）の実験に成功しましたので、別紙のとおりお知らせします。

以上

2017年12月15日

報道関係者各位

アイサンテクノロジー株式会社

交通規制の無い一般公道における、遠隔型自動運転（Level4）の実証実験に成功

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳、以下アイサンテクノロジー）は、株式会社ティアフォー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：武田 一哉、以下ティアフォー）、KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中 孝司、以下KDDI）などの協力の下、愛知県の平成 29 年度「自動走行実証推進事業」の受託において、2017年12月14日（木）に、交通規制の無い一般公道における遠隔制御型自動運転（レベル4）の実験に成功いたしました。



遠隔監視による自動運転は今後、地域の高齢化対策や観光振興などさまざまなニーズにあわせた交通手段として期待をされています。

本実証実験においては、運転席を無人の状態としたうえで、事前に構築した高精度 3 次元地図データベース「ADASmap」を基として、自動運転システム「Autoware」、「LiDAR」などを使用し、約 700m の区間における実験車両の自動走行を行いました。

アイサンテクノロジーは、各社の持つ要素技術を連携しながら、さらなる安心安全な社会の実現を目指してまいります。

実験の詳細は別紙をご参照ください。

以上

1. 実証実験概要

(1) 目的

アイサンテクノロジーは、愛知県による平成 29 年度「自動走行実証推進事業」の受託において、県内 10 市町村の協力の下、自動走行実証実験を実施しております。この実験においては、道路交通法等の規制を緩和し、無人走行車両を利用したタクシーの旅客サービスや無人配送サービスなどを目指した実証を行うことを目的とし、今回は交通規制の無い一般公道における遠隔型自動運連（Level4）の実証実験を全国に先駆けて実施をいたしました。

(2) 内容

車内の運転席を無人とした完全自動運転において、車外の遠隔地に設置した運転席より、遠隔操作者が車両を遠隔監視し、緊急時に遠隔操作を実施する遠隔型自動運連（Level4）を行いました。ハンドル、アクセル、ブレーキは自動的に制御され、車両が出発地から目的地まで自動運転を行います。万一、衝突などの危険を察知した場合には、遠隔操作者等が緊急停止の措置を講じます。

(3) 実験車両およびシステム

車両：トヨタエスティマベース

定員：4 人

速度：15 km/h 以下で実施

- ・自動運転システム：Autoware
- ・高精度 3 次元地図：点群データ、ADASmap
- ・通信環境：4G-LTE
- ・遠隔監視・操作システム

(4) 実施日

2017 年 12 月 14 日（木）

(5) 場所

愛知県額田郡幸田町の一般公道 約 700m 区間



以上